

先端技術を活用した農林水産研究高度化事業

平成16年度事業の概要

農林水産省では、現場に密着した農林水産分野の試験研究の迅速な推進を図るため、平成14年度から提案公募型の「先端技術を活用した農林水産研究高度化事業」を実施しています。

平成16年度は、地方の実情に応じた各地方独自の施策課題に臨機応変に対応するため、新たに「地方領域設定型研究」の創設を予定しております。

研究課題は、産学官連携による共同研究グループから公募し、採択された案件に対し研究を委託します。

平成15年11月
農林水産省
農林水産技術会議事務局
地域研究課

事業の概要

本事業は、大きく、「研究領域設定型研究」と「地域活性化型研究」の二つの区分で研究課題の公募を行います。なお、研究領域設定型研究は全国領域設定型研究及び地方領域設定型研究の2タイプを、地域活性化型研究は、独創的現場シーズ活用型研究、地域競争型研究、広域ニーズ・シーズ対応型研究の3タイプを小区分として設定しています。

応募者の資格

応募には、以下の要件を満たす必要があります。

- 応募する研究機関は、研究の推進に係る運営管理等を行う中核機関であること。中核機関は、原則として、以下の①から④のセクターのうちいずれかであって、少なくとも1以上の他のセクターの機関（共同機関）と共同研究を行うこと。

独創的現場シーズ活用型については、必ずセクター④の農林漁業者を中核機関または共同機関として含むこと。

セクター① 都道府県、市町村、公立試験研究機関

セクター② 大学、大学共同利用機関

セクター③ 独立行政法人、特殊法人、認可法人

セクター④ 民間企業、公益法人、協同組合及び農林漁業者

- 中核機関には、研究課題の実施に責任を持ち、これに十分な時間を確保できる研究総括者をおくこと。

研究期間

研究期間は1課題につき3年以内です。ただし、この期間で成果を挙げることが困難と考えられるものは5年以内とします。

審査方法

採択する研究課題は、外部委員が行う書面審査やヒアリング審査などの結果に基づき決定します。

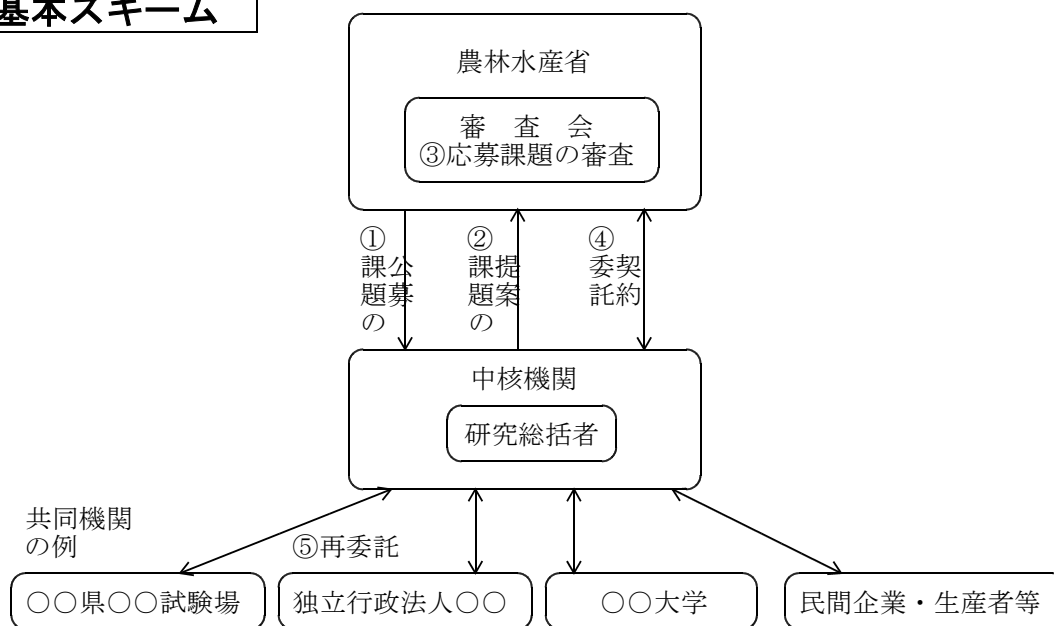
実施方法

採択された研究課題については、農林水産省が中核機関に委託するとともに、中核機関が共同機関に再委託することにより研究を実施します。

スケジュール

平成16年度の研究課題の公募の開始は、16年1月に行う予定です。
(スケジュールの詳細はホームページでお知らせします。)

基本スキーム



相談窓口

研究の課題化や共同研究の企画等については、以下の研究センターにご相談下さい。

○ 北海道地区	北海道農業研究センター	連絡調整室	tel : 011-857-9258
○ 東北地区	東北農業研究センター	連絡調整室	tel : 019-643-3419
○ 関東東海北陸地区	中央農業総合研究センター	研究調整官	tel : 0298-38-8509
○ 近畿中国四国地区	近畿中国四国農業研究センター	連絡調整室	tel : 084-923-4563
○ 九州沖縄地区	九州沖縄農業研究センター	研究調整官	tel : 096-242-7682
○ 専門研究機関	農業生物資源研究所	研究企画科	tel : 0298-38-7426
〃	農業環境技術研究所	研究企画科	tel : 0298-38-8180
〃	農業工学研究所	研究企画科	tel : 0298-38-7504
〃	食品総合研究所	研究交流科	tel : 0298-38-7990
〃	国際農林水産業研究センター	研究企画科	tel : 0298-38-6331
○ 林業分野	森林総合研究所	研究管理科	tel : 029-873-6331
○ 水産業分野	水産総合研究センター	研究開発官	tel : 045-788-7511

問い合わせ先

この応募手続きなど全般に関する問い合わせ先は以下のとおりです。

- 農林水産省 農林水産技術会議事務局 地域研究課 振興班
東京都千代田区霞が関1-2-1
tel : 03(3502)8111 内線 5191, 5193 fax : 03(3502)0762
ホームページ : <http://www.s.affrc.go.jp/docs/news/koubo/high.htm>
- 社団法人農林水産技術情報協会 研究開発部
東京都中央区日本橋兜町1-5-6 製粉会館6階
tel : 03(3667)8931 fax : 03(3667)8933
ホームページ : <http://www.afftis.or.jp/>

この公募は、本来平成16年度予算が成立した後に行うべきものですが、予算成立後、できるだけ早く委託研究を実施するために予算成立前に行うこととして
いるものです。今後変更等があり得ることをあらかじめご承知おき下さい。

提案公募による現場に密着した研究開発システム

産学連携

研究領域設定型研究

- ◎ 全国領域設定型研究
農林水産省が提示する農林水産施策推進に必要な全国ベースでの研究領域に対応した研究
- ◎ 地方領域設定型研究
地方農政局等が提示する農林水産施策推進に必要な地方ベースでの研究領域に対応した研究

地域活性化型研究

- ◎ 独自の現場シーズ活用型研究
農林漁業者の有する農林水産現場の独自の技術シーズを活用し、農林漁業者が参画する研究
- ◎ 地域競争型研究
地域固有の特産作物等地域資源又は地域の技術シーズを活用し、地域産業を活性化させる研究
- ◎ 広域ニーズ・シーズ対応型研究
複数の地域が抱える共通問題を効果的かつ効率的に解決するための研究

官の連携

- ◎ 農林水産施策の迅速かつ的確な対応
- ◎ 地方段階での施策課題への迅速かつ的確な対応

- ◎ 先端的農業経営を支える研究開発の高度化
- ◎ 生産者と一体となった地域消費や地域の食品産業等の活性化
- ◎ 地域が抱える共通課題の効率的・効果的解決

携の連携

<研究課題例>

- ◎ 残留農薬評価のための地域特産物の分類法及び迅速検出法の開発
- ◎ シックハウス対策としての特定の木質建材に関する化学物質の放散特性の解明
- ◎ やませ等変動気象下における農作物の高位・安定生産管理技術の開発
- ◎ 大豆の等級格下げの主要な原因となるしわ粒の発生要因の解明と被害防止技術の開発

<研究課題例>

- ◎ パパイヤ養液土耕栽培の汎用化技術の開発
施設栽培における土壌病害対策として、農家が開発したパパイヤ個体を鉢で隔離する養液土耕栽培技術を科学的に検証し、汎用性の高い技術として確立する。
- ◎ 有田ミカンのブランド化のための糖度・酸度評価システムの開発
糖度・酸度のバランスのとれた有田ミカンブランドを確立するため、時間飛行近赤外分光法を活用した糖度・酸度評価システムを開発する。
- ◎ 生ゴミ処理物を利用した高品質コンポスト製造システムの開発
都市近郊において、生ゴミ等食品廃棄物等をコンポスト化する上で課題となる、油分・塩分や未熟製品等の問題の解決を図る。

新鮮でおいしい「ブランド日本」食品の提供

先端的農業経営を支える研究開発の高度化

地域科学技術の振興

食の安全と安心の確保

農業の構造改革の加速化

科学技術駆動型の地域経済発展の推進